

御殿山通り整備基本計画の概要

平成17年6月

編集・発行：武蔵野市都市整備部まちづくり推進課

御殿山通りは、その沿道に史跡指定された玉川上水が並行して流れ、かつ三鷹駅から井の頭公園へのアクセス動線ともなっているため、玉川上水の緑豊かな景観に配慮した人に優しい道づくりが求められています。また、沿道住民の意向を反映し愛着がもてる道づくりを進めていくために、「御殿山通り道づくり研究会」を設置しワークショップ形式により、地域の皆さんと共に検討して進めてまいりました。

このような経緯を踏まえ、市では住民のみなさんからの意見・提案を出来る限り反映させ、御殿山通り整備基本計画を策定しました。

検討の経緯

- 平成13年度 地元事業説明会を開催
- 平成14年度 「御殿山通り道づくり研究会」を設置
- 平成15年度 住民参加のワークショップを実施
- 平成16年度 市基本計画案の検討と関係機関との協議
- 平成17年度 市基本計画案の意見交換会等を開催



御殿山通りの道づくり基本方針

計画対象区間の現状、課題をふまえ、基本方針を定めます。

- ①玉川上水の自然・文化を活かした道路景観の整備
 - ・玉川上水の景観を活かした道路景観づくりと、電線類の地中化を進めます
 - ・全区間の一体的整備にむけて、一方通行化を目指します
- ②歩道空間の確保とバリアフリーによる歩行者主体の道路整備
 - ・安心して歩きやすい歩道空間を確保し、車道の速度抑制を図ります
 - ・バリアフリーに配慮した、段差の少ない歩道の整備を進めます
- ③玉川上水の空間と沿道住宅地の調和のとれた一体的な空間づくり
 - ・素材や色彩等に配慮した道路整備を進めます
 - ・人道橋の設置など沿道と一体となった空間づくりを目指します

ワークショップでの提案事項とその対応

ワークショップでのご意見、提案のうち共通意見について、市ではできるかぎり反映するため、警視庁等との協議を進めてきた結果、本基本計画での対応状況は下記のとおりとなりました。

項目	ワークショップの共通意見	基本計画での対応について
車道整備 について	スラローム化 車道幅員 4~4.5m	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急車両通行のため、5mの車道幅員を確保 ●区画線内の車線の線形は、フォルトによるスラローム形状とする
歩道整備 について	歩道幅員 3~4.5m 宅地側に設置・バリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> ●宅地側の歩道幅員は、最低3.5mを確保、フォルト部は最大4.5m ●歩道と車道の段差を5cm程度とし、バリアフリー化を図る
遊歩道整備 について	玉川上水側に設置 遊歩道幅員 1~3m	<ul style="list-style-type: none"> ●遊歩道の幅員を最低1.5m確保、フォルト部は最大2.5m ●遊歩道と車道の段差は5~15cm程度
玉川上水側整備 について	人道橋の設置	<ul style="list-style-type: none"> ●人道橋設置に向けて基本計画に位置づけ目的等を整理 ●関係機関との協議を進める
その他	電線類の地中化	<ul style="list-style-type: none"> ●拡幅区間（みたか橋~むらさき橋）は、電線類の地中化を図る ●改良区間（むらさき橋~万助橋）は、相互通行のままでは困難、将来、一方通行化を実現した段階で実施予定